

MS科 数学520班

所得と大学進学率の関係

班員 山口凜子 榎本寿理 菊池悠真

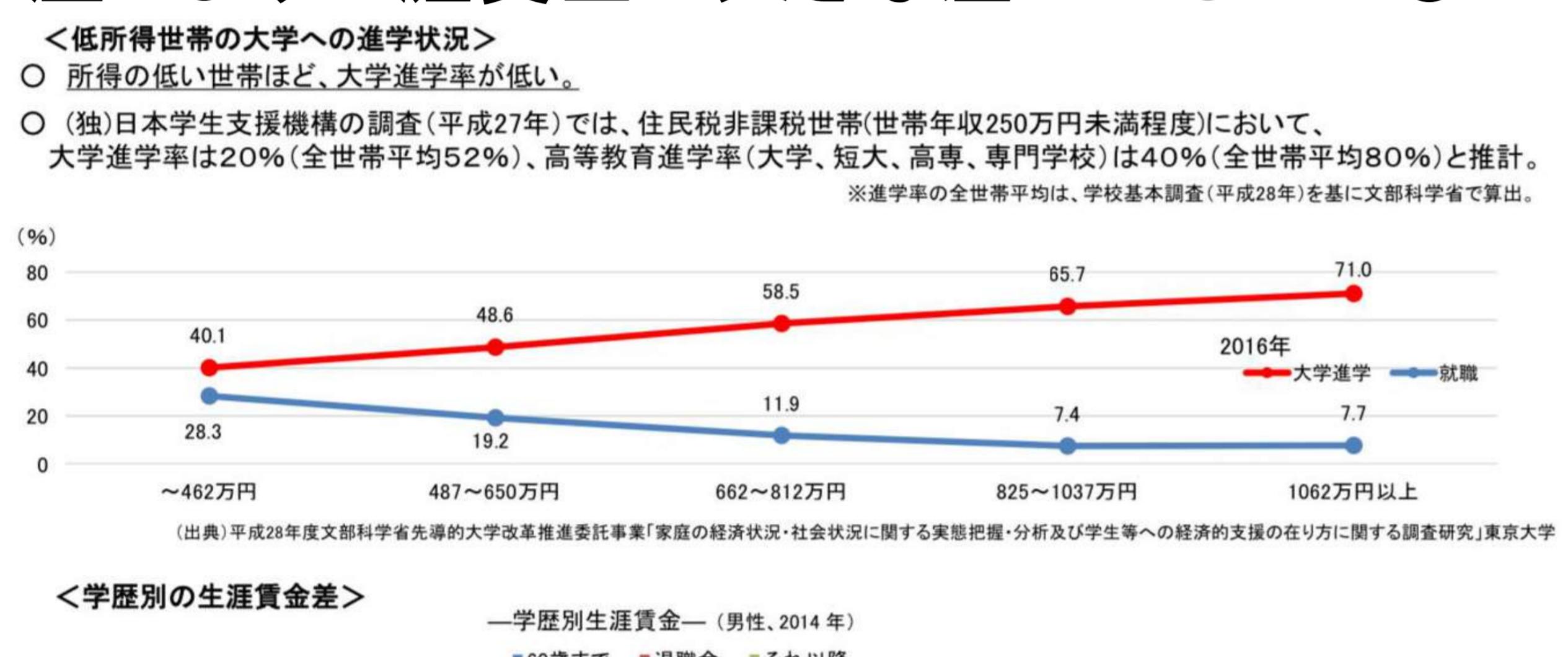
指導者 早田知樹先生 寺崎泰弘先生

研究の動機

大学の無償化からお金が進学率の差を生んでいるのか、また他の要因が大学進学において考えられるのかを知りたかったから。

先行研究(文部科学省より)

- ・所得が低い世代ほど大学進学率が低い
- ・学歴により生涯賃金に大きな差が生じている



研究計画

- ① 各都道府県の大学進学率と平均年収を調べ、グラフにまとめる。
- ② ①の結果から、大学進学率と平均年収にはどのような関係があるかを読み取る。またお金以外にどのような要因が挙げられるか考える。
- ③ その要因が本当に進学率の要因として挙げられるかを調べる。

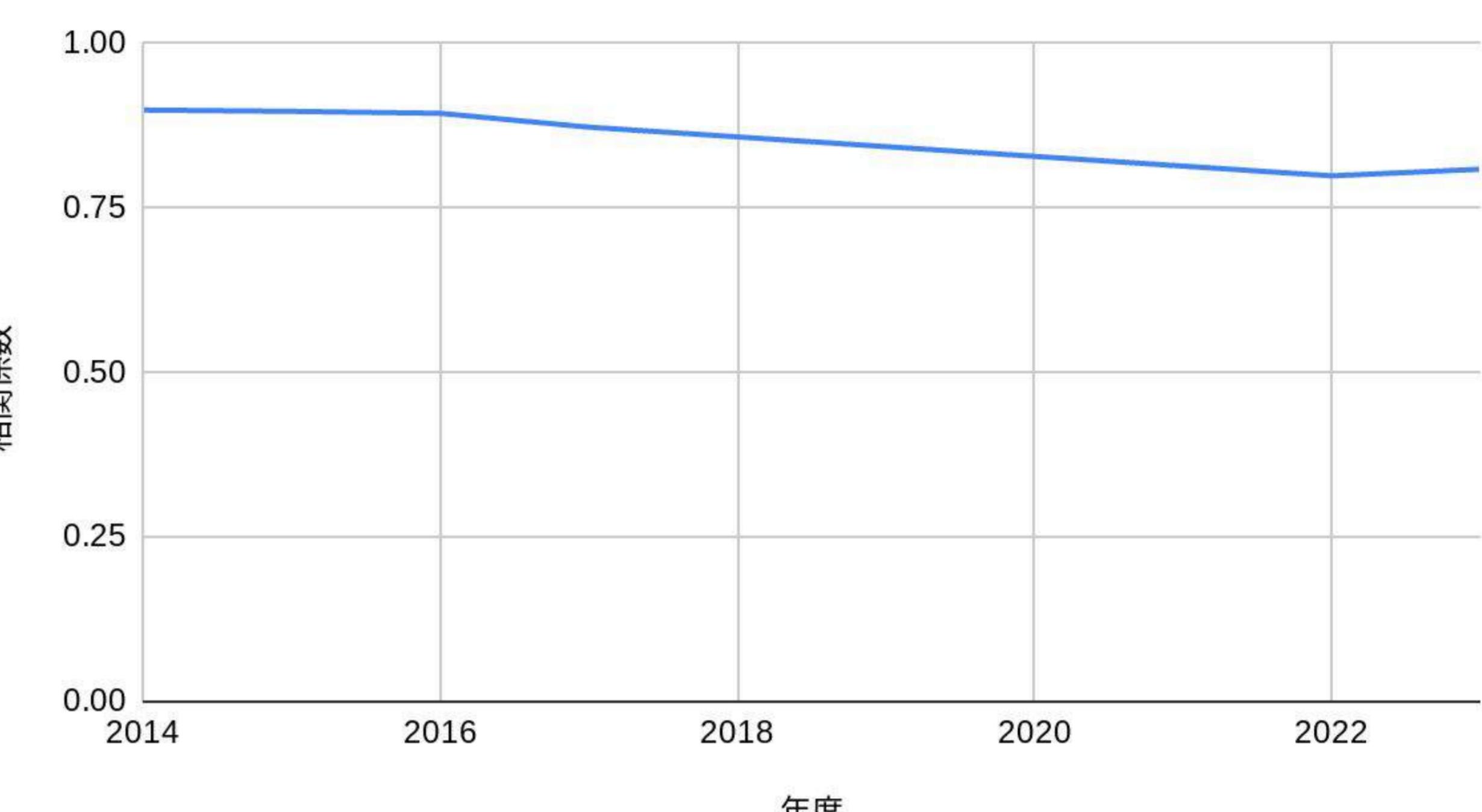
仮説

大学進学率と平均年収には強い相関があるのではないだろうか。

結果(①) 文部科学省学校基本調査より

結果 文部科学省学校基本調査より

平均賃金と大学進学率の相関



考察

結果より大学進学率には少なからずお金が関与しているのではないかと考えられる。しかし段々と減っていることからもちろんお金以外の事柄も関与していると考察できる。そこで私達は以下のことを上げた

男女差別の解消

年々女子の大学進学率が上がっているため

親の学歴

学歴が高い人が平均賃金が高い傾向にあるため。また、それによって子どもの導きもしやすい

今後の課題

上げた2つの事柄をデータだけでなく実際に通っている学校など、実際に身近でもそう言えるのかを調べる

4 質の高い教育を
みんなに



10 人や国の不平等
をなくそう

